



National Institute of Informatics

---

NII Technical Report

科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性  
度の調査研究－2004 年度(平成 16 年度)版－ V. 特別  
研究員奨励費編

Evaluation of Japanese Universities' Research  
Activity Based on the Number of Awards of  
*Grants-in-Aid for Scientific Research* – 2004 Fiscal  
Year – V. Grant-in-Aid for JSPS Fellows

光田好孝、野村浩康、前田正史、前橋 至、  
根岸正光、柴山盛生、西澤正己、孫 媛

Yoshitaka MITSUDA, Hiroyasu NOMURA, Masafumi MAEDA,  
and Itaru MAEBASHI,

Masamitsu NEGISHI, Morio SHIBAYAMA, Masaki NISHIZAWA,  
and Yuan SUN

NII-2006-007J  
Mar.2006

科学研究費補助金採択研究課題数による  
大学の研究活性度の調査研究  
- 2004 年度(平成 16 年度)版 -  
V . 特別研究員奨励費編

光田好孝\*, 野村浩康\*\*, 前田正史\*, 前橋至\*  
\* 東京大学 \*\* 東京電機大学

根岸正光, 柴山盛生, 西澤正己, 孫 媛  
国立情報学研究所

Evaluation of Japanese Universities' Research Activity  
Based on the Number of Awards of  
*Grants-in-Aid for Scientific Research* – 2004 Fiscal Year –  
V. Grant-in-Aid for JSPS Fellows

Yoshitaka MITSUDA\*, Hiroyasu NOMURA\*\*,  
Masafumi MAEDA\*, Itaru MAEBASHI\*  
\* The University of Tokyo, \*\* Tokyo Denki University

Masamitsu NEGISHI, Morio SHIBAYAMA,  
Masaki NISHIZAWA, Yuan SUN  
National Institute of Informatics

## Abstract

The system of *Grants-in-Aid for Scientific Research* from Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology of Japan is one of the oldest ones, which is the funding system for researchers belonging to universities and institutes in Japan. The fund was allotted to each researcher by peer review under the application for their own research projects.

This is the fifth and last report for 2004 fiscal year's version, that is, the encouragement fund for JSPS (Japan Society for the Promotion of Science) fellows. The total number of adopted subjects corresponds to the number of young researcher candidates at each university and also to a degree of the role of each university educating young researchers. The total number of adoption subjects of research projects at 2004 has summed up for each university and institute on individual research field and compared them to those of 2003 which were reported previously.

## 目 次

### ・科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究について

1 . はじめに .....	1
2 . 2004 年度（平成 16 年度）の包括的な状況 .....	1
3 . 調査研究に利用したデータベース .....	4
4 . 調査研究の具体的な分析方針 .....	4

### ・科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度：特別研究員奨励費編

1 . 概要 .....	7
2 . 研究領域別 .....	14
2 - 1 文系 .....	14
2 - 2 理工系 .....	19
2 - 3 医系 .....	26
2 - 4 融合系 .....	30



## ・科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究について

### 1. はじめに

文部科学省（文部省）科学研究費補助金制度は、1939年（昭和14年）に始まった古くからのわが国最大の、国・公・私立大学、国立研究機関等に所属する研究者に対する個人申請とピアレビューによる国の研究費配分制度である。この科学研究費補助金の配分システムが、いろいろな批判はあるにせよ、紆余曲折を経ながらわが国の大学の基礎研究を支えてきたと言っても過言ではない。その意味でも、科学研究費補助金がどのように配分されているかを総合的に分析・調査することは重要である。

科学研究費補助金の「系・分野（部）・分科・細目表」（以下「細目表」という。）は基盤研究等の種目に関し審査分野の区分を示す分類表であり、研究者は実施しようとする研究計画の内容を考え適切な細目を自ら選ぶことになっている。したがって、科学研究費補助金の「細目表」は不断に進展を続ける学問・研究の動向に合う適切なものでなければならない。科学研究費補助金の「細目表」については、5年ごとに見直されてきており、1998年度（平成10年度）に小規模な改正が、2003年度（平成15年度）に大幅な改正が行われている。

以上のことから、我々は、2003年度の「細目表」の大改訂を考慮して、1998年度（平成10年度）～2002年度（平成14年度）の5年間の全ての分野にわたって科学研究費補助金採択研究課題を分析し、その結果からわが国の大学・研究機関の研究活性度を調べ、国立情報学研究所の「NIIテクニカルレポート」（NII-2003-007J(2003)、NII-2004-001J～005J(2004)）として、Web上に公表した。同様に、新しい「細目表」を用いて初めて申請された2003年度の科学研究費補助金採択研究課題も分析し、国立情報学研究所の「NIIテクニカルレポート」（NII-2005-002J、004J、006J～008J(2005)）として、Web上に公表した。

本調査報告は、同様の調査研究の2004年度（平成16年度）版である。このような調査研究には連続性が必要であるので、2003年度までの調査研究と同じ方針でデータの整理・分析を行う。2003年度と同様に、個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究、特別研究員奨励費）と大型研究費（特別推進研究、特定領域研究、特別研究促進費、学術創成研究費）と研究成果公開促進費、審査・評価・分析経費にわけ、個別課題研究費、大型研究費について解析する。

なお、以下、2003年度（平成15年度）からの「細目表」を「新研究コード」、2002年度（平成14年度）までの「細目表」を「旧研究コード」と呼ぶこととする。

### 2. 2004年度（平成16年度）の包括的な状況

個別課題研究費、大型研究費、研究成果公開促進費および審査・評価・分析経費の3種類について、2003年度と2004年度との項目別予算の割合を図1-1に示す。総予算額が127億円増、前年比7.5%増えて1830億円となり、1995年度（平成7年度）と比較すると、倍増していることとなる。100億円を超える額が毎年上積みされ、緊縮財政の中では突出した状況にある。しかし、これまでと同様に項目別予算の割合はほとんど変化していない。言い換えれば、全体的な枠組みは近年ほとんど変化しておらず、総予算額のみが増えてきているといえる。

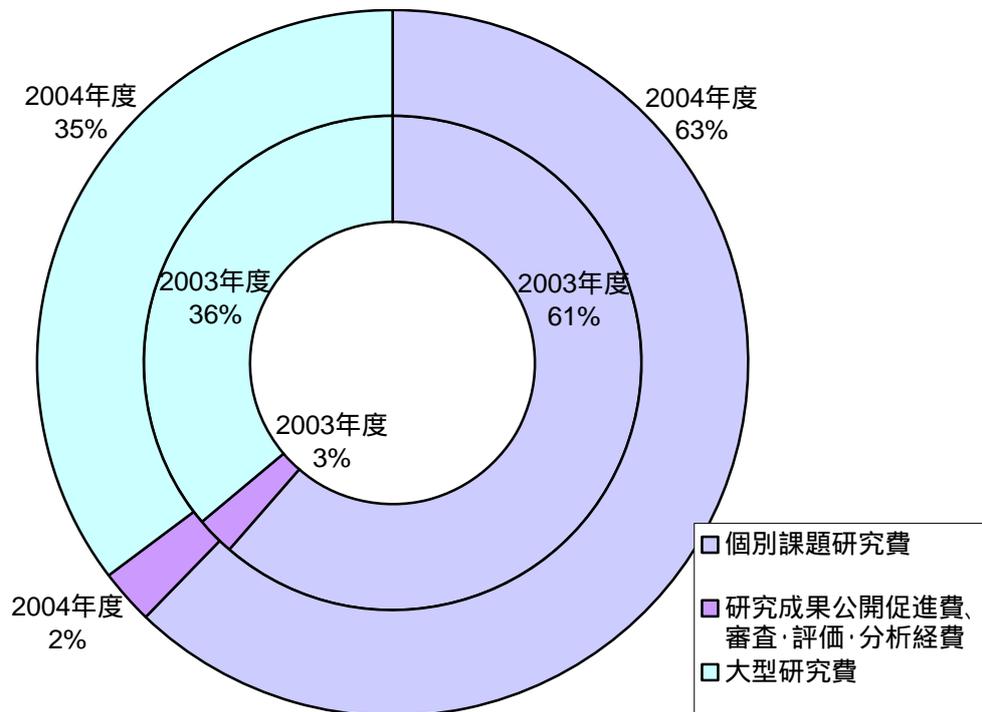


図 1 - 1 2003 年度(内周)と 2004 年度(外周)の科学研究費補助金の項目別予算の割合

個別課題研究費について、2003 年度と 2004 年度の採択研究課題数の割合を図 1 - 2 - 1 と 1 - 2 - 2 に示す。大雑把に言えば、「系」および「分野」ごとにみても、採択研究課題数の割合に目立った変化はない。細かく見ると、2003 年度と比較して、総予算額の増加に伴い全体の採択研究課題総数が約 8% 増え、「系」別の伸びが総合・新領域系で 23%、人文社会系で 11%、理工系で 5%、生物系で 4% であり、その伸び方には差があることがわかる。従前の採択研究課題総数の少なかった系ほど、伸びが目立つ結果となっている。

2004 年度は、2003 年度から用いられている新しい「細目表」による研究課題の審査・採択の 2 年目にあたる。初年度の 2003 年度には、6 割近くを占める継続研究課題について、申請すべき新しい「細目」分野が原則として指示されていた。このため、新しい「細目表」を用いて研究者自身が申請し採択された研究課題の状況が、調査結果に必ずしも明確に表れているとはいえなかった。そこで、2003 年度の採択研究課題数と比較しながら、「分野」・「分科」ごとに機関別に 2004 年度の採択研究課題数を見ていくことにする。なお、2003 年度の採択研究課題数には、「NII テクニカルレポート」(NII-2005-002J、004J、006J～008J(2005))として整理した後に発表された追加採択研究課題も含めた採択研究課題数を用いている。このため、「NII テクニカルレポート」(NII-2005-002J、004J、006J～008J(2005))の採択研究課題数とは異なることに注意されたい。

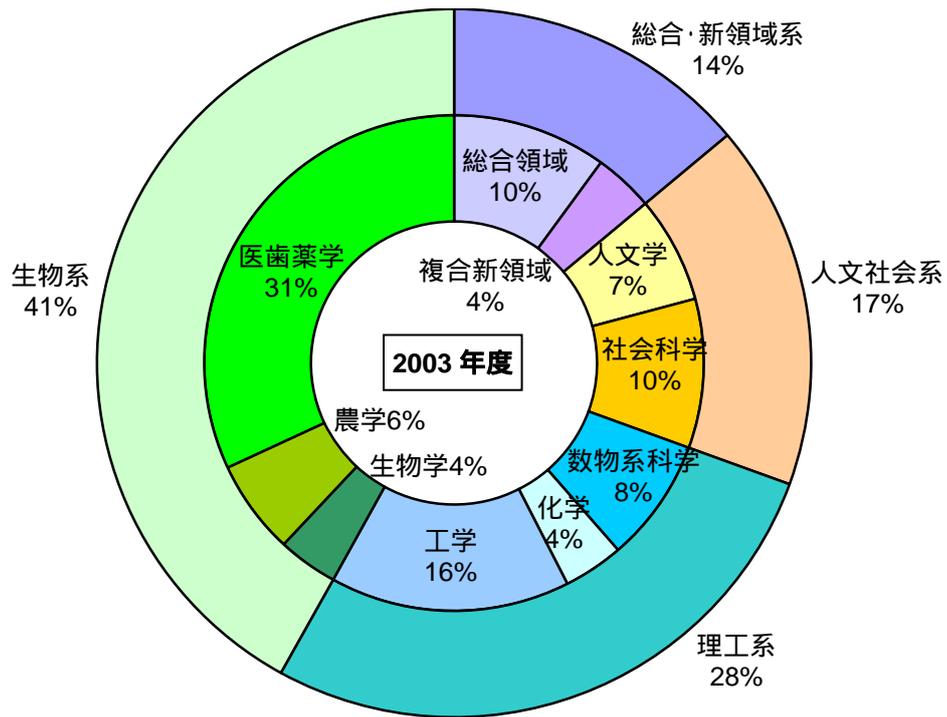


図1 - 2 - 1 2003年度科学研究費補助金の「系」別および「分野」別採択研究課題数の割合

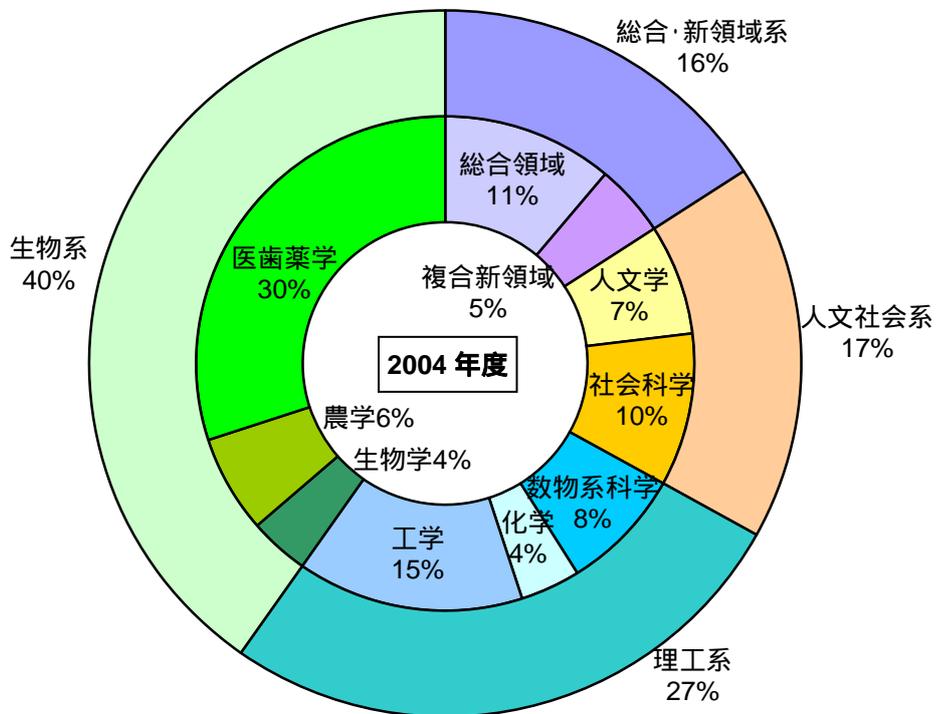


図1 - 2 - 2 2004年度科学研究費補助金の「系」別および「分野」別採択研究課題数の割合

### 3 . 調査研究に利用したデータベース

科学研究費補助金の採択研究課題名等については、「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」(ぎょうせい発行)として、毎年10月に公表・刊行されている。また、科学研究費補助金の採択研究課題名や成果概要等については、国立情報学研究所により「KAKEN(科学研究費成果公開サービス)」(URL: <http://seika.nii.ac.jp/>)としても公開されている。

本調査研究、特に個別課題研究費の分析には「KAKEN」に公開されているデータベースを用いた。本調査研究に用いた個別課題研究費のデータベース概要を表1-1に示した。「KAKEN」には年度当初の採択研究課題に加え年度途中での追加採択研究課題も含まれているため、「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」に掲載されている数値と一致しないことがある。

### 4 . 調査研究の具体的な分析方針

2003年度より新しい細目表が用いられていることを考慮し、2004年度の採択結果に2003年度の機関別採択研究課題数を併記し、新しい細目表による採択動向の影響を見ることとする。ただし、2003年度の途中から2004年度の研究課題の採択までの間に、大学の合併や名称変更などが行われている。2003年度の採択研究課題数を表記する場合には、この点を考慮して、合併前の大学の合算を行うなどの補正をしている。また、独立行政法人の改編に伴い申請時の機関名の記述が変更になったものもある。例えば、岡崎国立共同研究機関の分子科学研究所は、2003年度には機関：岡崎国立共同研究機関 / 部局：分子科学研究所であったものが、2004年度には機関：分子科学研究所となっている。このため、分子科学研究所の2003年度の採択研究課題数は0件となるなど、比較の難しいものもある。補正内容の詳細については個々に記さないの、注意されたい。

特別研究員奨励費を除く個別課題研究費では、科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度を、科学研究費補助金申請および採択に用いられた新研究コードにしたがって整理した。基本的には前回の2003年度の分析方針と同じである。

これらの研究種目については次の方法で分析する。

- (1) 各「系」について、2004年度の科学研究費補助金の採択研究課題数の総数による機関別順位を50位まで整理する。
- (2) 各「分野」について、採択研究課題数による機関別順位を50位まで整理する。
- (3) 「分科」については、文学、法学、経済学、薬学等学部に対応するものもある。基本的には、各「分科」について採択研究課題数による機関別順位を30位まで整理する。ただし、採択研究課題数が1件以下と少ない場合には、2件までの順位とする。
- (4) 各「細目」については、2004年度の単年度のため調査件数が少ないことから、分析の対象にはしなかった。この点については、現在の「細目表」が用いられる5年間の採択研究課題数の動向をいずれ見るときに改めて分析対象としたい。

一方、特別研究員奨励費については、「KAKEN」に公開されているデータベース上では、基本的に2003年度に新規採用された特別研究員からの申請による研究課題では旧研究コードが用いられ、2003年度に追加採用および2004年度に新規採用された特別研究員からの申請による研究課題では新研究コードが用いられている。このため、特別研究員奨励費の採択研究課題では、旧研究コードにより分類される研究課題と新研究コードにより分類される研究課題が混在している。

表1-1 本調査研究に用いた個別課題研究費のデータベース概要(2004年度)

金額単位/千円

種目	分野	採択件数	配分額	種目	分野	採択件数	配分額
基盤研究(S)	総合領域	24	457,500	萌芽研究	総合領域	443	610,700
	複合新領域	20	410,100		複合新領域	238	368,800
	人文学	9	178,200		人文学	151	153,300
	社会科学	5	74,900		社会科学	215	238,200
	数物系科学	32	541,200		数物系科学	214	279,900
	化学	19	367,800		化学	189	312,600
	工学	62	1,161,600		工学	575	890,200
	生物学	21	383,100		生物学	141	228,700
	農学	19	330,200		農学	283	438,700
	医歯薬学	46	891,800		医歯薬学	1,237	1,844,700
基盤研究(A)	総合領域	168	1,711,100	若手研究(A)	総合領域	64	418,200
	複合新領域	164	1,647,700		複合新領域	40	299,200
	人文学	157	1,209,900		人文学	10	22,600
	社会科学	149	1,206,700		社会科学	15	61,800
	数物系科学	199	1,964,400		数物系科学	50	314,600
	化学	94	1,050,800		化学	48	318,100
	工学	368	3,861,000		工学	127	900,300
	生物学	94	998,600		生物学	32	212,900
	農学	146	1,401,000		農学	31	195,400
	医歯薬学	259	2,663,500		医歯薬学	86	579,200
基盤研究(B)	総合領域	823	3,658,900	若手研究(B)	総合領域	1,281	1,651,850
	複合新領域	469	2,238,200		複合新領域	413	573,700
	人文学	497	1,651,100		人文学	586	545,700
	社会科学	718	2,447,700		社会科学	1,084	1,098,298
	数物系科学	623	2,629,900		数物系科学	829	983,392
	化学	354	1,777,400		化学	420	633,200
	工学	1,392	6,542,700		工学	1,517	2,129,677
	生物学	321	1,620,600		生物学	400	594,200
	農学	724	3,276,800		農学	544	749,700
	医歯薬学	1,956	9,003,000		医歯薬学	3,009	4,174,754
基盤研究(C)	総合領域	1,590	2,074,900	特別研究員奨励費	全体	5,186*	5,114,952
	複合新領域	526	730,000				
	人文学	1,415	1,350,400				
	社会科学	1,693	1,721,600				
	数物系科学	1,236	1,431,200				
	化学	421	644,700				
	工学	1,795	2,510,900				
	生物学	485	727,000				
	農学	720	996,600				
	医歯薬学	5,256	7,386,100				
時限付き	249	387,600					

\* 特別研究員奨励費には、細目番号不明の16件を含む。

したがって、特別研究員奨励費については次の方法で分析する。

- (1) 特別研究員奨励費全体の採択研究課題の総数(新・旧研究コードすべてを含む)による機関別順位を50位まで整理する。
- (2) 研究コードが混在しているため、旧研究コードの「部」と新研究コードの「分野」を、文系(部:文学、法学、経済学、分野:人文学、社会科学)、理工系(部:理学、工学、農学、分野:数物系科学、化学、工学、生物学、農学)、医系(部:医学、分野:医歯薬学)、融合系(部:複合領域、分野:総合領域、複合新領域)の4つに統合する。この4つの「系」について、採択研究課題数による機関別順位を50位まで整理する。
- (3) 各「部」および各「分野」についても、採択研究課題数による機関別順位を30位まで整理する。ただし、採択研究課題数が1件以下と少ない場合には、2件までの順位とする。なお、これらについては、「細目表」の変更をまたいでいるため個別の機関別順位には本質的な意味がないことに注意が必要である。

## ・科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度：特別研究員奨励費編

### 1. 概要

特別研究員（最長任期3年）とは、「優れた若手研究員を養成・確保するため、自由な発想のもとに主体的な研究を進める機会を与える」ために、博士課程の在学者もしくは修了者が自ら日本学術振興会に申請し、審査による選考を経て採用された萌芽的な研究者といえる。特別研究員奨励費は、科学研究費補助金の個別研究種目の一つであるが、日本学術振興会特別研究員が行う研究に対する助成（研究期間1年）であり、採用期間の間、毎年申請すれば基本的には申請した研究課題が採択されることになっている。したがって、特別研究員奨励費は基盤研究(A)、(B)、(C)、萌芽研究、若手研究等とは異なり、日本学術振興会の採用する特別研究員となることがこの研究費を得るための必須条件である。

特別研究員奨励費の採択・配分は科学研究費補助金の全ての研究細目にわたっている。2003年度の「細目表」の改訂によって、特別研究員奨励費以外の個別研究は新研究コードを用いている。しかし、I章で述べたように、特別研究員として申請し採用された際にも科学研究費補助金の「細目表」を用いている。特別研究員の申請は前年度の5月上旬頃であるため、2003年度に採用された特別研究員が特別研究員奨励費を申請する際にも旧研究コードを用いていた。2004年度に採用された特別研究員は新研究コードを用いているため、2004年度の特別研究員奨励費では、後述するように、新研究コードと旧研究コードが混在し、ほぼ同数となっている。

新旧の研究コードに関わらず特別研究員奨励費全体での機関別採択研究課題数の上位50位を表2-1に、その棒グラフを図2-1に示す。図から明らかなように、東京大学が群を抜いており、京都大学がそれに続いている。旧帝国大学と東京工業大学までとそれ以降とではやや段差があり、以下、筑波大学、早稲田大学、慶應義塾大学と続き、あとはなだらかに減少する。この状況には、これまでと比較してほとんど変化がない。2004年度の採択研究課題数は、2003年度と比較すると全体で約4%伸びている。この中で、1位の東京大学が採択研究課題数を伸ばし、2位の京都大学との差を広げている。また、名古屋大学、筑波大学、慶應義塾大学、広島大学、神戸大学、一橋大学、奈良先端科学技術大学院大学などの中位の大学が大幅に採択研究課題数を伸ばしている。

表 2 - 1 特別研究員奨励費採択研究課題数上位 50 位 (2004 年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2004年度		2003年度
			件数	金額	件数
1	国	東京大学	1,075	1,049,421	999
2	国	京都大学	686	668,399	662
3	国	大阪大学	310	307,300	317
4	国	東北大学	255	249,400	261
5	国	名古屋大学	228	222,200	210
6	国	北海道大学	200	200,600	198
7	国	九州大学	183	180,300	173
8	国	東京工業大学	169	168,800	172
9	国	筑波大学	119	111,535	109
10	私	早稲田大学	112	103,364	107
11	私	慶應義塾大学	91	86,600	82
12	国	広島大学	65	60,233	57
13	国	神戸大学	64	60,100	59
14	国	一橋大学	57	52,600	46
15	他	産業技術総合研究所	53	63,400	61
16	公	東京都立大学	49	46,500	54
17	国	千葉大学	48	44,900	46
18	国	岡山大学	40	40,300	38
19	国	奈良先端科学技術大学院大学	35	35,200	22
20	他	高エネルギー加速器研究機構	32	30,300	33
21	国	岐阜大学	30	30,100	32
21	公	大阪市立大学	30	28,000	27
23	国	東京医科歯科大学	29	31,700	28
24	私	東京理科大学	26	26,300	23
25	国	金沢大学	25	26,600	28
26	国	東京農工大学	24	22,300	31
27	国	熊本大学	22	22,000	21
28	国	愛媛大学	21	21,800	23
28	国	東京外国語大学	21	16,300	22
30	国	お茶の水女子大学	20	19,400	22
30	公	大阪府立大学	20	18,900	19
32	国	鳥取大学	19	20,000	12
32	私	上智大学	19	19,600	16
32	国	横浜国立大学	19	19,000	22
35	他	基礎生物学研究所	18	22,800	0
36	他	岡崎共通研究施設	17	19,600	0
36	他	宇宙航空研究開発機構	17	18,200	14
36	国	新潟大学	17	17,500	26
36	国	名古屋工業大学	17	17,000	9
36	国	静岡大学	17	16,700	14
41	公	兵庫県立大学	15	15,300	12
41	私	日本大学	15	14,500	9
43	国	信州大学	14	15,700	13
43	私	立命館大学	14	14,800	16
43	国	三重大学	14	14,300	15
43	国	電気通信大学	14	13,600	11
43	国	琉球大学	14	13,400	13
48	他	国立精神・神経センター	13	14,400	10
48	他	国立天文台	13	13,200	14
48	国	徳島大学	13	13,100	13
48	国	奈良女子大学	13	11,700	17
		合計	5,186	5,114,952	4,965

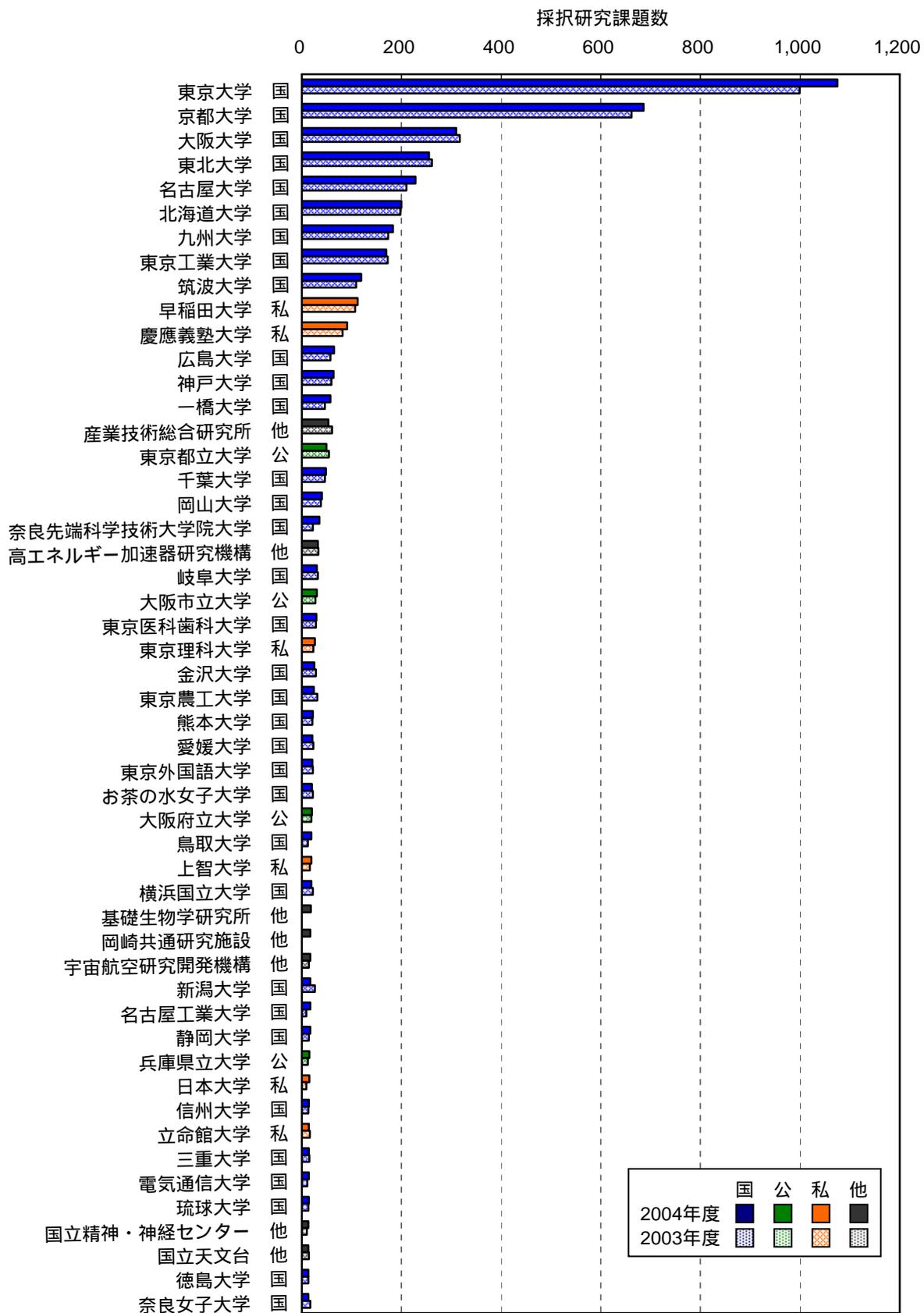


図 2 - 1 特別研究員奨励費採択研究課題数上位 50 位 (2004 年度)

上位 15 機関の相対的な特別研究員奨励費の採択研究課題数の割合を見るために、円グラフにして図 2 - 2 に示す。東京大学から東京工業大学の上位 8 機関で全採択研究課題数の 60%、15 位の産業技術総合研究所までで 71% を占める。表 2 - 2 に示した 50 位までで全体の実に 86% を占めている。このグラフはわが国の研究者の養成・確保に対する旧帝国大学系総合大学の役割の重さを如実にあらわしている。この傾向は 2003 年度とほとんど変わっていない。上位 8 機関は順位も含めて変化していないが、その占める割合はやや減少している。統計的に有意な変化かどうかは明瞭ではない。

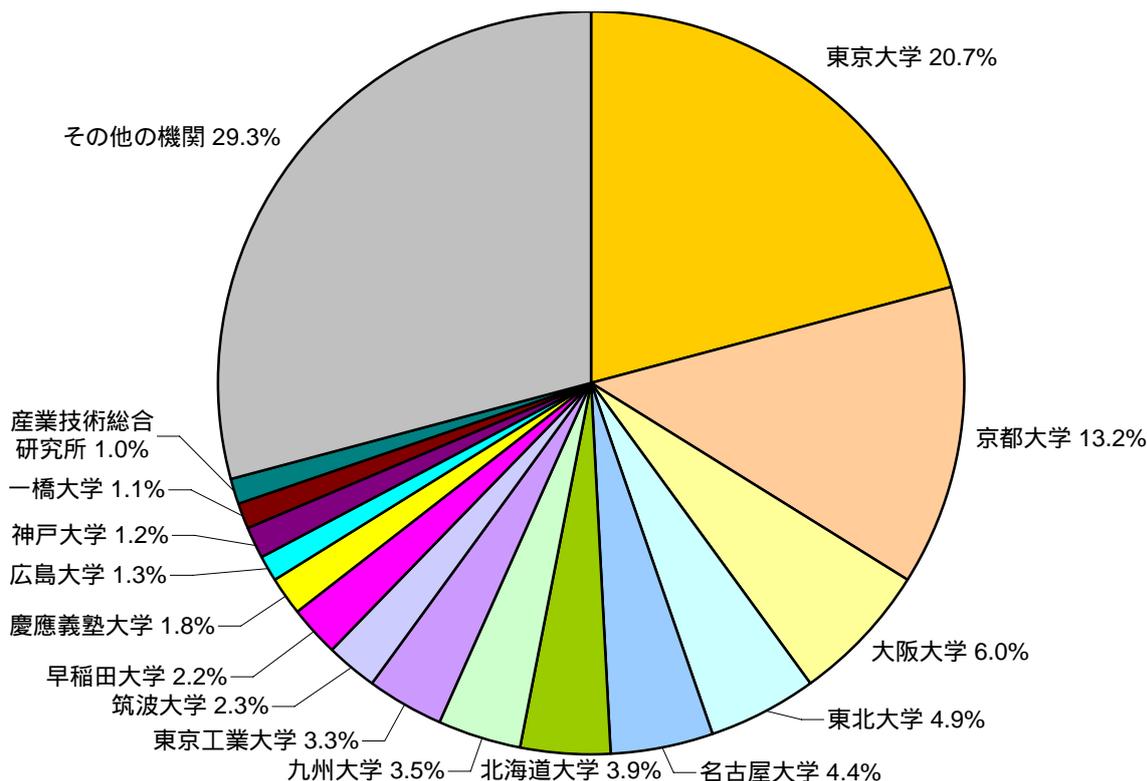


図 2 - 2 特別研究員奨励費上位 15 機関とその他の機関との相対的採択研究課題数の割合  
(2004 年度)

他の個別課題研究費と同様に、特別研究員奨励費も「分野」別に研究機関ごとの採択研究課題数について整理していきたいが、I 章で述べたように特別研究員奨励費の場合には新旧両方の研究コードにより申請が行われているという特殊な事情がある。特別研究員奨励費の採択研究課題総数を旧研究コードの「部」または新研究コードの「分野」別に表 2 - 2 に示し、「部」および「分野」別の分布を図 2 - 3 の円グラフに示す。図からわかるように旧研究コードと新研究コードがおよそ半々の状況にあるため、研究コードによって「部」または「分野」別に各研究機関の役割を論ずることは難しいといえる。なお、「KAKEN」に登録されている採択された特別研究員奨励費のうち、16 件については研究コードの記載がないため、表 2 - 1 と表 2 - 2 の合計欄の件数や金額が異なっている。

表 2 - 2 特別研究員奨励費「部」または「分野」別 採択研究課題数 (2004 年度)

金額単位/千円

部または分野		件数	金額
旧 研 究 コ ー ド	文学	450	397,800
	法学	68	52,700
	経済学	61	50,900
	理学	744	749,821
	工学	501	491,735
	農学	323	319,500
	医学	263	268,700
	複合領域	447	449,596
	小計	2,857	2,780,752
	新 研 究 コ ー ド	総合領域	192
複合新領域		135	138,600
人文学		186	168,100
社会科学		226	197,900
数物系科学		315	321,700
化学		193	196,100
工学		323	321,100
生物学		253	267,400
農学		250	262,000
医歯薬学		240	251,500
小計		2,313	2,317,400
合計		5,170	5,098,152

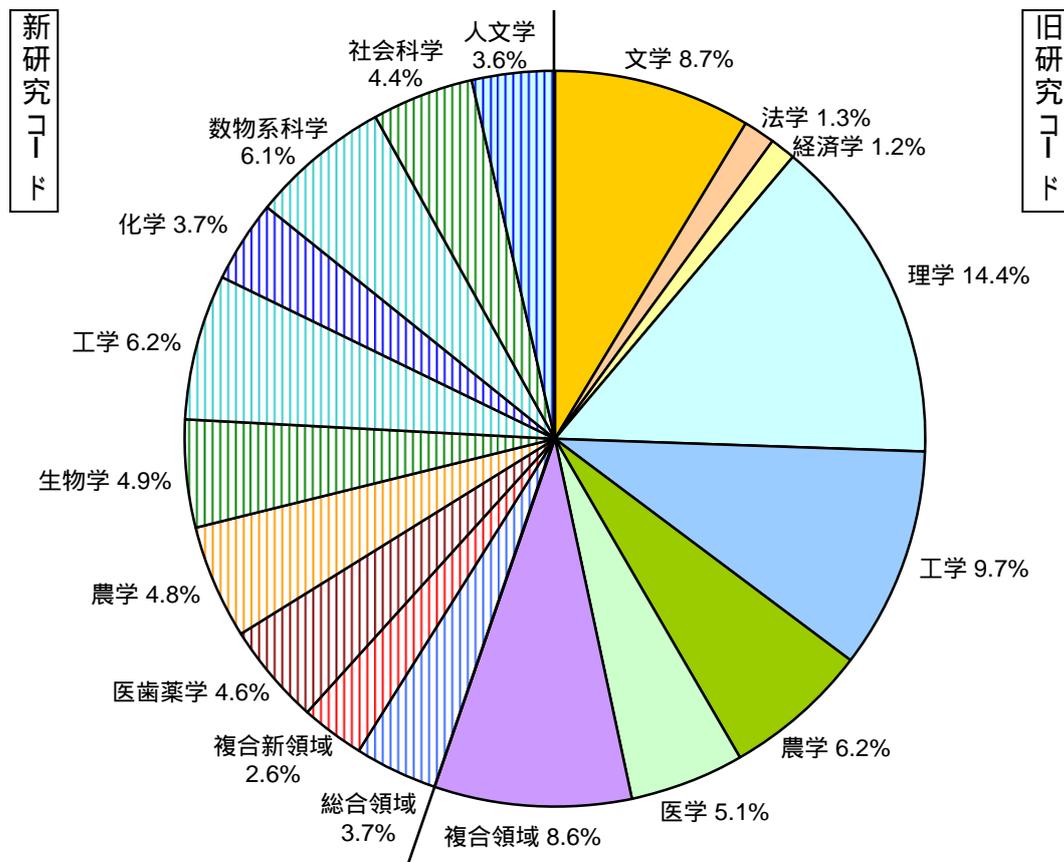


図 2 - 3 特別研究員奨励費「部」または「分野」別 採択研究課題数の割合 (2004 年度)

そこで、「部」または「分野」に代わる研究領域として、文系、理工系、医系、融合系の4つの研究領域を考え、この研究領域に「部」および「分野」を表2-3に示すように振りわけた。それぞれの採択研究課題数を含めた結果を表2-3に示し、2003年度と比較して円グラフにしたものを図2-4に示す。

このような研究領域にわけてみると、2003年度と比較して分布には大きな変化がないように見える。しかし、表2-3からわかるように、全体として採択研究課題総数が増えたにもかかわらず、医系や融合系では採択研究課題数が減り、理工系では大幅に採択研究課題数が伸びている。

以下、この研究領域別に、採択研究課題数による機関別順位を整理していくこととする。なお、「部」および「分野」別に各研究機関の役割を論ずることは難しく、また、2003年度の採択研究課題数との比較も難しいため、参考として上位30位までの採択研究課題数の表のみ示すこととする。

表2-3 特別研究員奨励費「研究領域」別 採択研究課題数(2004年度)

研究領域	細目番号	部または分野	2004年度		2003年度 件数
			件数	金額	
			金額単位/千円		
文系	旧	文学	450	397,800	739
	旧	法学	68	52,700	113
	旧	経済学	61	50,900	99
	新	人文学	186	168,100	5
	新	社会科学	226	197,900	23
	小計		991	867,400	979
理工系	旧	理学	744	749,821	1,245
	旧	工学	501	491,735	857
	旧	農学	323	319,500	541
	新	数物系科学	315	321,700	18
	新	化学	193	196,100	0
	新	工学	323	321,100	22
	新	生物学	253	267,400	3
	新	農学	250	262,000	1
小計		2,902	2,929,356	2,687	
医系	旧	医学	263	268,700	500
	新	医歯薬学	240	251,500	21
	小計		503	520,200	521
融合系	旧	複合領域	447	449,596	763
	新	総合領域	192	193,000	7
	新	複合新領域	135	138,600	8
	小計		774	781,196	778
合計			5,170	5,098,152	4,965

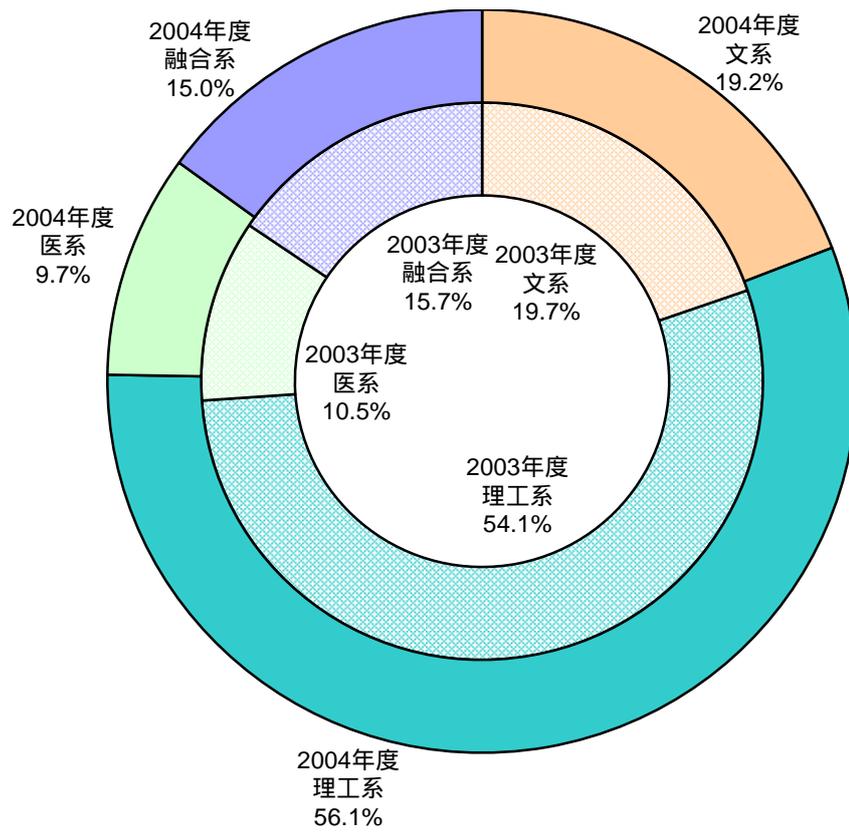


図 2 - 4 特別研究員奨励費「研究領域」採択研究課題数の割合（2004年度）

## 2 . 研究領域別

### 2 - 1 文系

新研究コードの人文社会系の分野：人文学、社会科学に、旧研究コードの中で大まかに対応するのは、部：文学、法学、経済学である。これらを文系として合計した全体での機関別採択研究課題数を表2 - 4に、その棒グラフを図2 - 5に示す。

文系の特別研究員奨励費の採択研究課題数については、東京大学と京都大学が他の機関を圧倒していることがわかる。東京大学が文系全体の約1/4となる23.9%、京都大学が14.4%、私立大学最上位の早稲田大学が4.5%である。文系全体としてみれば、特別研究員は、東京大学と京都大学を除けば非常に幅広く所属しており、私立大学や研究所等にも多い。しかし、単年度のため採択研究課題数が少なく、上位の2大学を除けば機関別順位やその占める割合に統計的に意味があるかどうかは不明である。

2003年度と比較して、その順位には大きな変動がないことがわかる。ただし、文系全体の採択研究課題総数は前年度比1.2%しか伸びておらず、特別研究員奨励費を除いた個別課題研究費の人文社会系の採択研究課題総数の伸びが約11%と大きかったことは対照的である。次世代の研究者の候補者である大学院博士課程在学学生や博士課程修了者に占める文系の割合が小さく、これとは逆に、大学教員に占める文系の割合が大きいくに対応していると言える。また、有意な差かどうか不明瞭であるが、特別研究員奨励費における文系全体の採択研究課題総数の伸びが小さいにもかかわらず、一橋大学、筑波大学、名古屋大学などが採択研究課題数を伸ばし、東北大学などが採択研究課題数を減らしている。

以下、旧研究コードの部：文学、法学、経済学、および新研究コードの分野：人文学、社会科学について、I章で述べた方針にしたがって上位30位までを表にまとめ、表2 - 5 - 1 ~ 2 - 5 - 2に示す。どの「部」および「分野」においても、東京大学と京都大学が1位と2位を占めている。3位以下に各大学の特徴が現れているとも言えるが、同じ研究分野と考えられるものが新旧の研究コードにまたがるため、これらの順位にどの程度の意味があるかはよくわからない。

表2 - 4 文系 採択研究課題数上位30位(2004年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2004年度		2003 件数
			件数	金額	
1	国	東京大学	237	214,500	246
2	国	京都大学	143	123,700	139
3	国	一橋大学	55	50,600	46
4	私	早稲田大学	45	36,100	46
5	国	大阪大学	41	36,000	44
6	国	筑波大学	33	26,700	25
7	国	名古屋大学	32	29,200	27
8	国	東北大学	31	26,700	37
9	国	北海道大学	30	25,000	24
10	私	慶應義塾大学	28	25,000	27
11	国	九州大学	22	19,300	25
12	公	東京都立大学	21	17,700	21
13	国	東京外国語大学	19	14,000	20
14	国	神戸大学	16	12,200	17
15	国	千葉大学	15	12,700	11
16	私	上智大学	13	13,200	10
17	国	広島大学	12	9,900	11
18	国	お茶の水女子大学	9	7,900	12
18	公	大阪市立大学	9	7,800	6
20	他	国立民族学博物館	8	8,000	7
20	他	国際日本文化研究センター	8	6,800	7
22	他	東洋文庫	7	6,200	5
22	私	立教大学	7	5,700	10
22	国	東京芸術大学	7	5,600	6
25	私	立命館大学	6	5,000	8
25	国	奈良女子大学	6	4,800	7
27	他	国立教育政策研究所	5	5,700	5
27	私	日本大学	5	5,000	2
27	私	関西学院大学	5	4,700	4
27	私	國學院大學	5	4,400	2
27	私	同志社大学	5	3,900	4
27	私	中央大学	5	3,600	7
33	他	国文学研究資料館	4	4,200	5
33	他	国立精神・神経センター	4	4,200	2
33	私	関西大学	4	2,700	5
36	公	神戸市外国語大学	3	3,500	1
36	国	東京学芸大学	3	3,100	2
36	私	法政大学	3	2,900	2
36	私	大谷大学	3	2,600	2
36	私	神奈川大学	3	2,500	2
36	私	青山学院大学	3	2,300	1
36	私	明治学院大学	3	1,700	0
36	国	政策研究大学院大学	3	1,400	3
44	私	国際仏教学大学院大学	2	2,400	1
44	私	麗澤大学	2	2,000	2
44	国	茨城大学	2	1,900	1
44	国	総合研究大学院大学	2	1,900	0
44	他	国立歴史民俗博物館	2	1,900	2
44	私	東洋大学	2	1,800	2
44	国	金沢大学	2	1,700	1
44	私	東北学院大学	2	1,600	1
44	私	津田塾大学	2	1,600	2
44	公	沖縄県立芸術大学	2	1,500	1
44	私	国際基督教大学	2	1,300	2
44	私	明治大学	2	1,300	2
合計			991	867,400	979

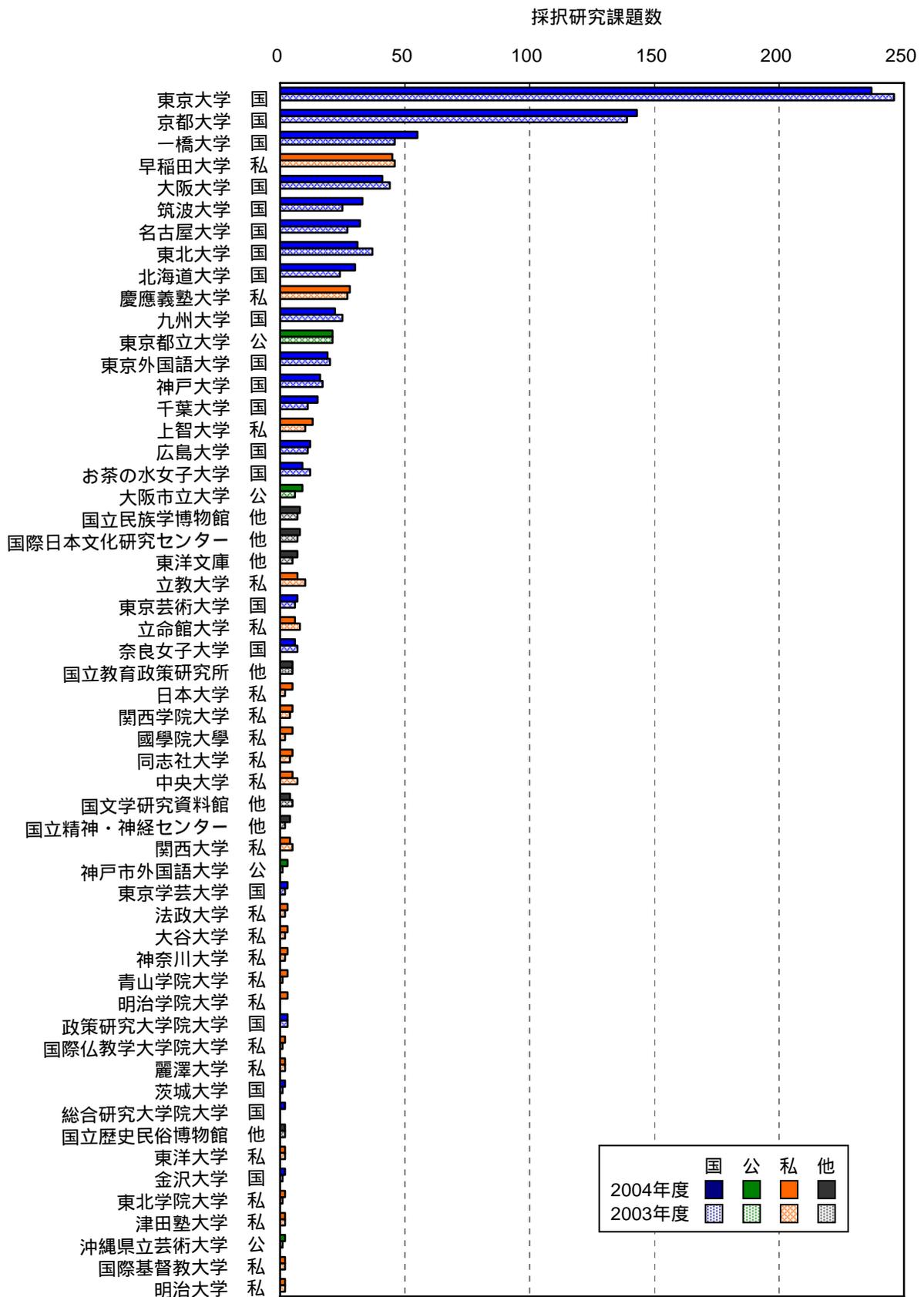


図2 - 5 文系 採択研究課題数上位50位 (2004年度)

表2 - 5 - 1 文系「部」または「分野」別 採択研究課題数上位30位(2004年度)(1)

金額単位/千円

文学					法学						
順位	種別	機関名	件数	金額	順位	種別	機関名	件数	金額		
1	国	東京大学	105	97,500	1	国	東京大学	24	18,700		
2	国	京都大学	68	59,900	2	国	京都大学	6	4,700		
3	私	早稲田大学	21	16,900	3	私	早稲田大学	5	3,300		
4	国	大阪大学	19	17,400	4	国	一橋大学	3	2,700		
5	国	一橋大学	16	16,000	4	国	北海道大学	3	2,400		
6	国	筑波大学	15	11,800	4	私	慶應義塾大学	3	2,400		
6	国	東北大学	15	11,600	4	国	神戸大学	3	1,800		
6	国	東京外国語大学	15	11,200	8	国	名古屋大学	2	2,200		
9	国	名古屋大学	13	11,200	8	私	立教大学	2	2,200		
10	私	慶應義塾大学	12	10,800	8	国	九州大学	2	1,800		
10	公	東京都立大学	12	10,300	8	国	大阪大学	2	1,300		
12	国	北海道大学	10	8,400	8	公	東京都立大学	2	1,300		
13	国	九州大学	9	8,300	8	私	明治学院大学	2	900		
13	国	千葉大学	3	7,900							
15	国	お茶の水女子大学	8	7,100			合計	68	52,700		
16	他	国立民族学博物館	6	6,600							
16	他	東洋文庫	6	5,000			経済学				
18	私	上智大学	5	4,900			順位	種別	機関名	件数	金額
18	他	国際日本文化研究センター	5	4,500	1	国	京都大学	13	11,000		
18	国	広島大学	5	4,300	2	国	東京大学	11	10,100		
18	国	東京芸術大学	5	4,000	2	国	一橋大学	11	8,800		
18	国	奈良女子大学	5	3,900	4	私	早稲田大学	3	2,200		
23	私	立命館大学	4	2,900	5	国	大阪大学	2	1,800		
23	私	立教大学	4	2,700	5	国	東北大学	2	1,400		
25	他	国立教育政策研究所	3	3,300	5	国	名古屋大学	2	1,400		
25	公	大阪市立大学	3	2,700	5	国	九州大学	2	1,400		
25	私	関西大学	3	2,100							
		合計	450	397,800			合計	61	50,900		

表2 - 5 - 2 文系「部」または「分野」別 採択研究課題数上位30位(2004年度)(2)

金額単位/千円

人文学					社会科学				
順位	種別	機関名	件数	金額	順位	種別	機関名	件数	金額
1	国	東京大学	49	44,600	1	国	東京大学	48	43,600
2	国	京都大学	26	22,200	2	国	京都大学	30	25,900
3	国	大阪大学	9	8,200	3	国	一橋大学	20	18,100
3	国	筑波大学	9	7,700	4	国	名古屋大学	13	12,200
5	国	九州大学	7	6,100	5	国	北海道大学	10	8,600
6	私	上智大学	6	6,400	5	私	早稲田大学	10	7,900
6	私	早稲田大学	6	5,800	7	国	大阪大学	9	7,300
6	国	北海道大学	6	4,900	7	国	神戸大学	9	6,100
9	国	一橋大学	5	5,000	9	国	東北大学	8	7,700
9	私	慶應義塾大学	5	5,000	9	国	筑波大学	8	6,800
9	国	東北大学	5	4,900	11	私	慶應義塾大学	7	5,700
9	公	東京都立大学	5	4,500	12	国	広島大学	5	4,000
13	国	千葉大学	4	2,800	13	公	大阪市立大学	4	3,300
14	国	東京外国語大学	3	1,800	14	私	関西学院大学	3	2,700
15	公	神戸市外国語大学	2	2,400	15	他	国立教育政策研究所	2	2,400
15	国	名古屋大学	2	2,200	15	私	日本大学	2	2,200
15	国	神戸大学	2	2,200	15	国	千葉大学	2	2,000
15	私	立命館大学	2	2,100	15	国	東京学芸大学	2	2,000
15	他	国文学研究資料館	2	2,000	15	他	国立精神・神経センター	2	2,000
15	私	神奈川大学	2	1,900	15	国	総合研究大学院大学	2	1,900
15	国	東京芸術大学	2	1,600	15	国	九州大学	2	1,700
15	国	広島大学	2	1,600	15	公	東京都立大学	2	1,600
15	他	国際日本文化研究センター	2	1,600	15	私	同志社大学	2	1,500
15	私	同志社大学	2	1,300	15	国	政策研究大学院大学	2	700
合計			186	168,100	合計			226	197,900

## 2 - 2 理工系

旧研究コードの部：理学、工学、農学に新研究コードの中で大まかに対応するのは、理工系の分野：数物系科学、化学、工学と、生物系の分野：生物学、農学である。これらを理工系として合計した全体での機関別採択研究課題数を表 2 - 6 に、その棒グラフを図 2 - 6 に示す。

理工系の特別研究員奨励費の採択研究課題数についても、東京大学と京都大学が上位を占めるが、文系の場合ほど他の研究機関との差は大きくない。しかし、文系と比較して、国立大学が上位を占め、旧帝国大学と東京工業大学に全体の 62.4% が集中し、公立大学や私立大学が占める割合が小さいことがわかる。東京大学が全体の約 1/5 の 20.1%、京都大学が 13.4%、私立大学最上位の早稲田大学が 2.0% である。しかし、単年度のため採択研究課題数が少なく、20 位以下の機関別順位やその占める割合に統計的に意味があるかどうかは不明である。

2003 年度と比較すると、その順位には大きな変動がないことがわかる。理工系全体の採択研究課題総数は前年度比 8.0% 伸びており、特別研究奨励費全体の採択研究課題総数の伸びにほぼ等しい。上位の旧帝国大学と東京工業大学が占める割合は、2003 年度の 67.4% から多少減っている。また、広島大学、奈良先端科学技術大学院大学、名古屋工業大学などの大学や、高エネルギー加速器研究機構などの研究機関における採択研究課題数が伸びている。これは、学位取得後に特別研究員へ採用される場合（PD）に、学位を取得した研究室から異動することが原則となったために、他の研究機関へ異動するものが増えたことが原因の一つと考えられる。

以下、旧研究コードの部：理学、工学、農学、および新研究コードの分野：数物系科学、化学、工学、生物学、農学について、I 章で述べた方針にしたがって上位 30 位までを表にまとめ、表 2 - 7 - 1 ~ 2 - 7 - 4 に示す。どの「部」および「分野」においても、東京大学の強さが目立つ。しかし、「部」や「分野」によっては、東京大学と他の大学との差が小さいところもあり、文系と比較して東京大学の強さは目立たない。文系と同様に、3 位以下に各大学の特徴が現れているとも言えるが、同じ研究分野と考えられるものが新旧の研究コードにまたがるため、これらの順位にどの程度の意味があるかはよくわからない。

表2 - 6 理工系 採択研究課題数上位 50 位 (2004 年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2004年度		2003
			件数	金額	件数
1	国	東京大学	583	579,921	528
2	国	京都大学	388	389,200	362
3	国	東北大学	167	163,400	171
4	国	大阪大学	148	148,600	134
5	国	東京工業大学	145	147,400	142
6	国	名古屋大学	144	140,500	138
7	国	北海道大学	131	135,200	126
8	国	九州大学	106	105,500	84
9	私	早稲田大学	58	58,400	52
10	国	筑波大学	46	44,235	44
11	他	産業技術総合研究所	43	52,400	42
12	国	広島大学	38	37,600	28
13	私	慶應義塾大学	35	33,600	35
14	国	神戸大学	34	33,500	29
15	国	岡山大学	33	32,600	28
16	他	高エネルギー加速器研究機構	32	30,300	32
17	公	東京都立大学	27	27,800	27
18	国	奈良先端科学技術大学院大学	26	27,000	10
19	国	岐阜大学	24	23,200	24
20	国	東京農工大学	23	21,600	27
21	私	東京理科大学	20	19,900	16
22	国	千葉大学	19	18,000	18
23	他	宇宙航空研究開発機構	17	18,200	14
24	国	横浜国立大学	16	16,400	16
25	国	名古屋工業大学	15	15,300	9
26	公	大阪市立大学	15	14,700	13
27	国	熊本大学	14	13,400	12
28	他	国立天文台	13	13,200	14
28	公	大阪府立大学	13	12,100	14
30	他	基礎生物学研究所	12	15,900	0
30	国	鳥取大学	12	13,100	7
30	国	愛媛大学	12	12,700	11
30	国	電気通信大学	12	11,600	9
34	他	岡崎共通研究施設	11	12,500	0
34	国	信州大学	11	12,400	11
34	他	農業・生物系特定産業技術研究機構	11	12,000	7
34	国	新潟大学	11	11,900	10
34	国	三重大学	11	11,500	9
34	国	静岡大学	11	10,600	8
34	国	埼玉大学	11	10,000	9
41	国	金沢大学	10	11,800	14
41	国	帯広畜産大学	10	11,000	7
41	公	兵庫県立大学	10	10,600	7
41	国	琉球大学	10	9,900	9
45	他	農業生物資源研究所	9	10,000	8
45	国	茨城大学	9	9,400	8
47	他	森林総合研究所	8	9,100	6
47	国	岩手大学	8	8,100	8
47	国	宮崎大学	8	8,000	5
47	国	豊橋技術科学大学	8	7,000	10
		合計	2,902	2,929,356	2,687

採択研究課題数

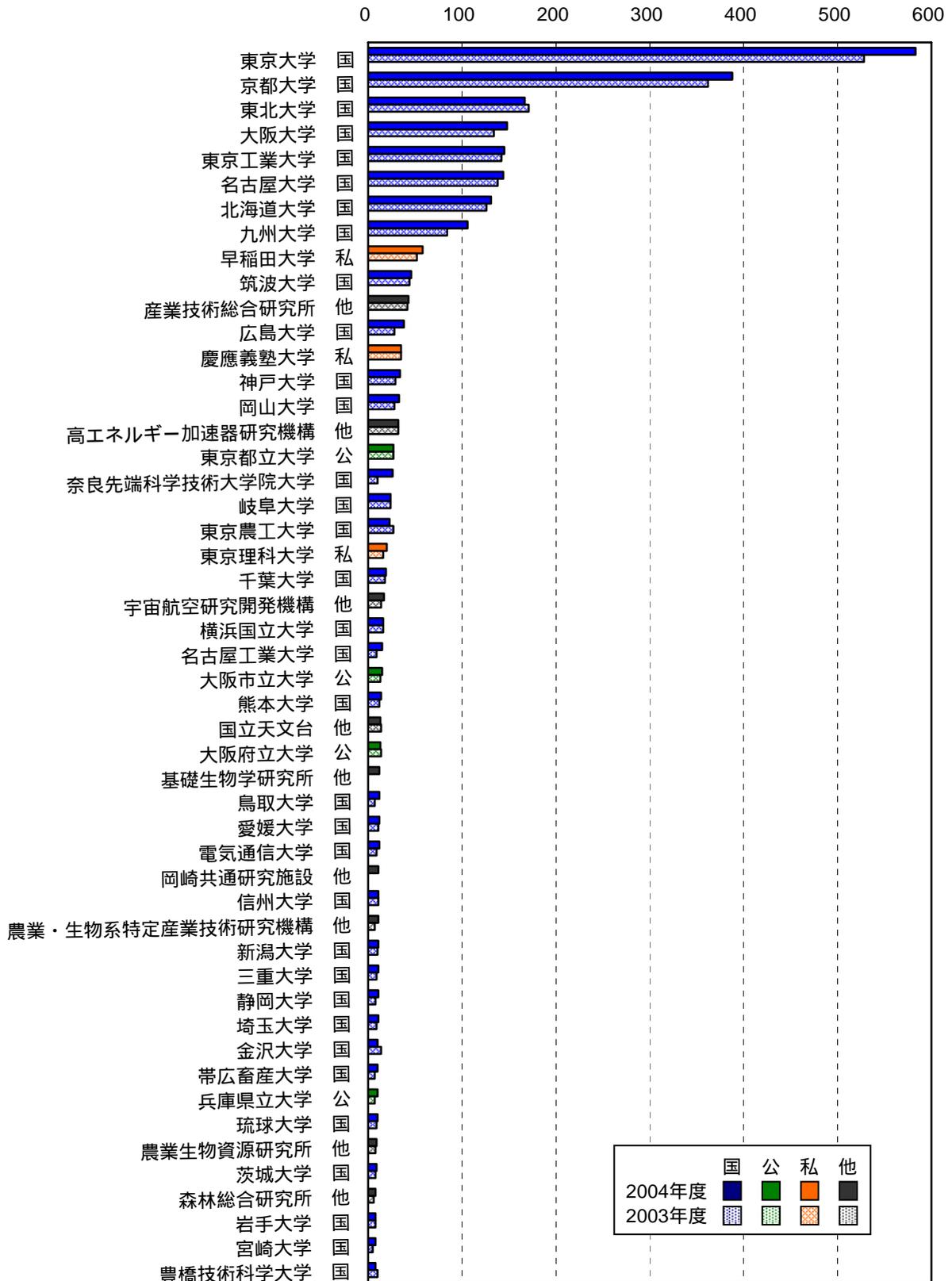


図2 - 6 理工系 採択研究課題数上位 50 位 (2004 年度)





表2 - 7 - 3 理工系「部」または「分野」別 採択研究課題数上位30位(2004年度)(3)

金額単位/千円

化学					工学(新研究コード)				
順位	種別	機関名	件数	金額	順位	種別	機関名	件数	金額
1	国	東京大学	31	32,700	1	国	東京大学	67	69,300
2	国	京都大学	29	29,400	2	国	東京工業大学	33	33,400
3	国	大阪大学	15	15,600	3	国	大阪大学	30	30,000
4	国	九州大学	14	14,600	4	国	京都大学	25	24,500
5	国	東北大学	12	10,700	5	国	東北大学	24	25,100
5	国	東京工業大学	12	10,300	6	国	九州大学	12	12,300
7	国	北海道大学	11	12,000	6	国	名古屋大学	12	11,300
8	国	名古屋大学	9	8,400	8	他	産業技術総合研究所	8	9,500
9	私	早稲田大学	7	6,800	9	私	早稲田大学	7	7,100
10	私	慶應義塾大学	6	5,700	9	国	広島大学	7	6,800
11	国	奈良先端科学技術大学院大学	5	5,100	9	私	慶應義塾大学	7	6,800
12	公	東京都立大学	3	3,200	12	国	北海道大学	6	5,500
12	私	関西学院大学	3	3,200	12	国	名古屋工業大学	6	5,400
12	私	東京理科大学	3	3,000	12	国	電気通信大学	6	5,000
15	国	名古屋工業大学	2	2,500	15	国	横浜国立大学	4	4,200
15	公	大阪市立大学	2	2,400	15	国	神戸大学	4	3,700
15	国	山形大学	2	2,200	15	国	岡山大学	4	3,400
15	国	東京医科歯科大学	2	2,200	18	国	熊本大学	3	3,300
15	国	横浜国立大学	2	2,200	18	他	宇宙航空研究開発機構	3	3,000
15	公	大阪府立大学	2	2,000	18	国	豊橋技術科学大学	3	2,700
15	国	熊本大学	2	1,800	18	国	奈良先端科学技術大学院大学	3	2,500
					18	国	千葉大学	3	2,400
					18	国	埼玉大学	3	2,100
					24	国	筑波大学	2	2,200
					24	国	山梨大学	2	2,200
					24	私	東京理科大学	2	2,200
					24	国	佐賀大学	2	2,000
					24	国	長岡技術科学大学	2	1,900
					24	公	東京都立大学	2	1,800
					24	私	関西大学	2	1,800
					24	国	岐阜大学	2	1,700
					24	国	静岡大学	2	1,700
					24	公	大阪府立大学	2	1,600
					24	私	東京工芸大学	2	1,200
合計			193	196,100	合計			323	321,100

表2 - 7 - 4 理工系「部」または「分野」別 採択研究課題数上位30位(2004年度)(4)

金額単位/千円

生物学					農学(新研究コード)				
順位	種別	機関名	件数	金額	順位	種別	機関名	件数	金額
1	国	京都大学	44	44,900	1	国	東京大学	47	49,700
2	国	東京大学	41	43,300	2	国	京都大学	31	30,900
3	国	大阪大学	20	23,200	3	国	北海道大学	23	23,900
4	国	北海道大学	16	16,700	4	国	名古屋大学	13	12,200
5	国	名古屋大学	13	14,200	5	国	九州大学	12	12,600
6	国	東北大学	10	10,200	5	国	東北大学	12	11,900
7	他	岡崎共通研究施設	7	7,800	7	国	筑波大学	7	7,000
7	国	九州大学	7	7,600	8	国	鳥取大学	6	6,800
7	国	奈良先端科学技術大学院大学	7	7,400	9	国	岐阜大学	5	4,900
7	国	東京工業大学	7	7,100	10	国	帯広畜産大学	4	4,800
11	他	国立遺伝学研究所	5	6,800	10	国	奈良先端科学技術大学院大学	4	4,400
11	国	神戸大学	5	5,600	10	国	宮崎大学	4	4,200
13	国	筑波大学	4	4,200	10	国	神戸大学	4	3,900
13	私	東京理科大学	4	4,000	10	国	広島大学	4	3,100
13	国	総合研究大学院大学	4	3,600	10	国	岡山大学	4	2,500
13	公	横浜市立大学	4	3,500	16	国	千葉大学	3	3,600
17	国	広島大学	3	3,400	16	国	大阪大学	3	3,600
17	国	岡山大学	3	2,800	16	他	森林総合研究所	3	3,600
19	国	鹿児島大学	2	2,400	16	他	農業・生物系特定産業技術研究機構	3	3,600
19	公	東京都立大学	2	2,400	16	国	琉球大学	3	3,400
19	他	基礎生物学研究所	2	2,400	16	国	岩手大学	3	3,200
19	他	産業技術総合研究所	2	2,400	16	私	日本大学	3	3,200
19	国	信州大学	2	2,200	16	国	愛媛大学	3	3,000
19	私	慶應義塾大学	2	2,200	16	国	東京海洋大学	3	2,900
19	私	立教大学	2	2,200	25	他	水産総合研究センター	2	2,400
19	私	久留米大学	2	2,100	25	公	滋賀県立大学	2	2,300
19	国	茨城大学	2	2,000	25	国	東京農工大学	2	2,200
19	国	三重大学	2	2,000	25	私	近畿大学	2	2,200
19	公	兵庫県立大学	2	2,000	25	国	山口大学	2	2,000
19	私	早稲田大学	2	2,000	25	国	高知大学	2	1,800
19	私	東京薬科大学	2	1,600	25	国	長崎大学	2	1,500
合計			253	267,400	合計			250	262,000

## 2 - 3 医系

新研究コードの生物系の分野：医歯薬学にほぼ対応するのは、旧研究コードの部：医学である。これらを医系として合計した全体での機関別採択研究課題数を表 2 - 8 に、その棒グラフを図 2 - 7 に示す。

特別研究員奨励費以外の個別研究種目について「分野」別にみると、図 1 - 2 - 2 で示したように分野：医歯薬学が採択研究課題総数の約 30% を占める。これに対して、特別研究員奨励費の採択研究課題数については、図 2 - 4 で示すように、医系が全体の 10% 弱に過ぎない。文系と異なり、大学院博士課程在学学生に占める医系の割合が大きいのにもかかわらず、医系全体の特別研究員奨励費の採択研究課題総数が少ない。これは、研究者からの申請書に基づき審査される個別課題研究の採択研究課題数は研究者総数もしくは申請総数に依存するため、医系において特別研究員となっている者の数が少ないためであろう。医系分野の博士課程の在学者または修了者は、研究者としてよりも高度職業人として研鑽を積むことを念頭におく者が多いとも考えられる。また、学部を卒業し資格のための国家試験に合格すれば、医師等の国家資格を有するため、これらの資格を用いて得る収入が特別研究員としての収入より高額となるためかもしれない。

医系では、東京大学が 17.3%、大阪大学が 10.9% であり、旧帝国大学と東京医科歯科大学と筑波大学に全体の 61.8% が集中している。5 位の東京医科歯科大学を筆頭に保健系の単科大学が数多く顔を出しており、私立大学最上位の慶應義塾大学が 1.6% であり、公立大学最上位の札幌医科大学が 0.8% である。しかし、単年度のため 10 位以下の採択研究課題数が少なく、10 位ですでに 10 件未満であるため、機関別順位やその占める割合に統計的に意味があるかどうかは不明である。

2003 年度と比較すると、その順位には大きな変動がないことがわかる。医系全体の採択研究課題総数は前年度より減少している。上位の旧帝国大学、東京医科歯科大学と筑波大学が占める割合は、2003 年度の 63.7% から多少減っている。京都薬科大学が大幅に採択研究課題数を伸ばし、50 位以下から 12 位へ躍進している。

以下、旧研究コードの部：医学、および新研究コードの分野：医歯薬学について、I 章で述べた方針にしたがって上位 30 位までを表にまとめ、表 2 - 9 に示す。文系や理工系とは異なり、旧研究コードの部：医学と新研究コードの分野：医歯薬学はほぼ対応するため、旧研究コードの部：医学は 2003 年までに採用された特別研究員による機関別順位に相当し、新研究コードの分野：医歯薬学では、2004 年度に採用された特別研究員による機関別順位に相当する。旧研究コードの部：医学では 4 位である北海道大学が新研究コードの分野：医歯薬学では 12 位となっていることが目立つ。

表2 - 8 医系 採択研究課題数上位 50 位 (2004 年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2004年度		2003 件数
			件数	金額	
1	国	東京大学	87	86,000	89
2	国	大阪大学	55	55,700	61
3	国	京都大学	53	54,400	60
4	国	九州大学	25	25,300	29
5	国	東京医科歯科大学	24	26,500	22
6	国	筑波大学	19	19,900	16
7	国	東北大学	18	19,400	20
8	国	北海道大学	17	18,200	23
9	国	名古屋大学	13	12,900	12
10	私	慶應義塾大学	8	8,000	6
10	国	千葉大学	8	7,600	10
12	国	徳島大学	7	6,700	9
12	私	京都薬科大学	7	6,500	1
14	国	神戸大学	6	6,900	7
14	国	岡山大学	6	6,600	8
14	国	金沢大学	6	6,300	5
14	国	熊本大学	6	6,200	4
18	私	神戸薬科大学	5	6,100	3
18	国	福井大学	5	5,000	3
20	国	愛媛大学	4	4,600	6
20	公	札幌医科大学	4	4,600	5
20	私	東京理科大学	4	4,400	3
20	国	鳥取大学	4	4,000	3
20	国	長崎大学	4	4,000	8
20	公	横浜市立大学	4	3,900	2
20	公	名古屋市立大学	4	3,800	2
20	国	広島大学	4	2,800	5
28	他	生理学研究所	3	3,600	0
28	国	岐阜大学	3	3,500	4
28	国	秋田大学	3	3,300	1
28	私	順天堂大学	3	3,300	2
28	国	新潟大学	3	3,000	8
28	私	帝京大学	3	3,000	2
28	私	日本大学	3	3,000	2
28	私	産業医科大学	3	2,900	2
28	国	山口大学	3	2,700	3
28	国	鹿児島大学	3	2,500	2
38	他	国立循環器病センター	2	4,100	1
38	国	群馬大学	2	2,400	3
38	国	富山医科薬科大学	2	2,400	4
38	国	信州大学	2	2,400	0
38	私	北里大学	2	2,400	0
38	他	愛知県がんセンター研究所	2	2,400	1
38	国	大分大学	2	2,300	1
38	他	国立精神・神経センター	2	2,300	2
38	公	静岡県立大学	2	2,200	1
38	私	自治医科大学	2	2,200	2
38	他	国立医薬品食品衛生研究所	2	2,200	2
38	他	国立長寿医療センター	2	2,200	3
38	国	浜松医科大学	2	2,100	1
38	私	東海大学	2	2,100	2
38	私	早稲田大学	2	2,000	0
38	国	三重大学	2	1,700	3
合計			503	520,200	521

採択研究課題数

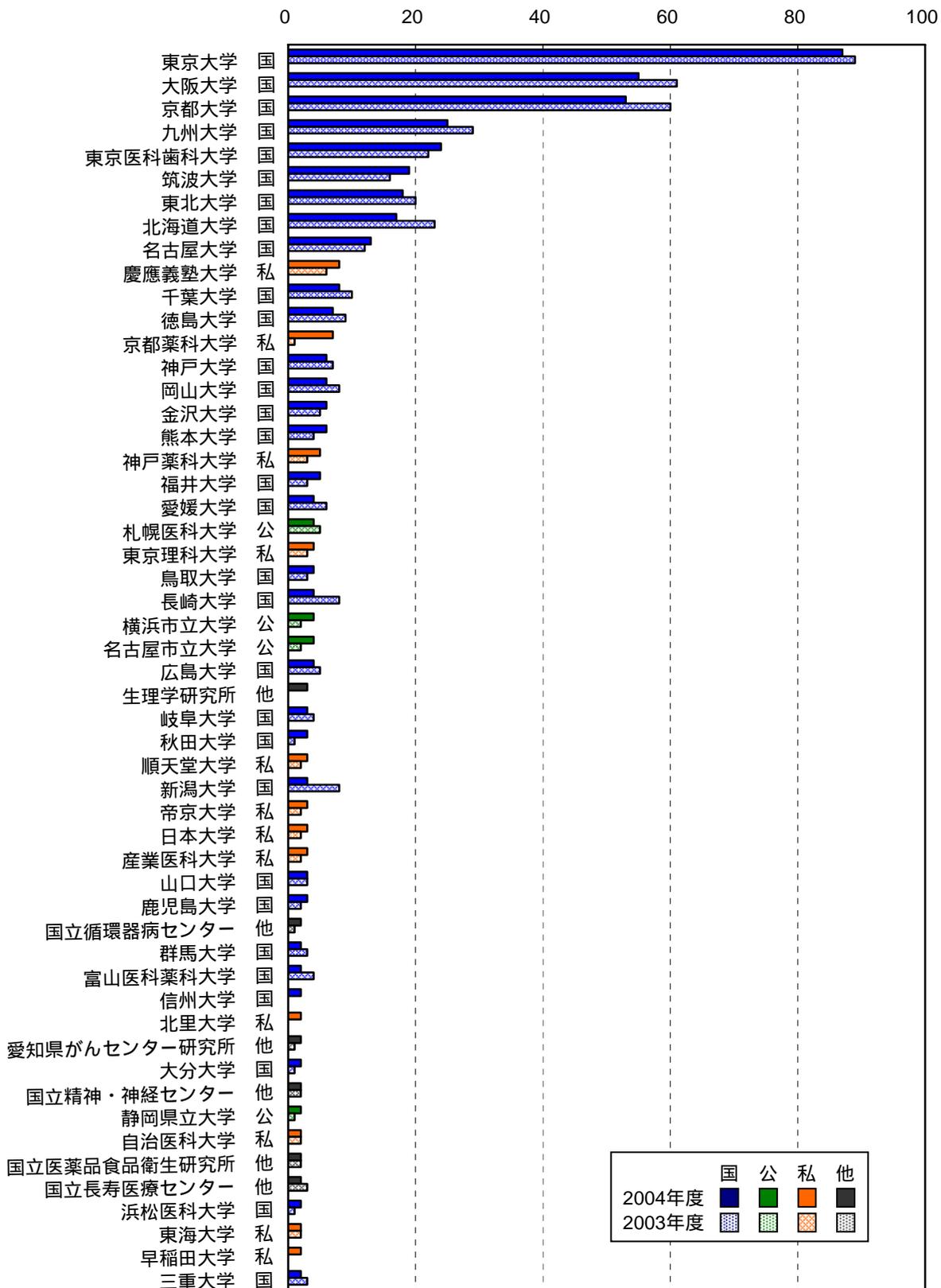


図2 - 7 医系 採択研究課題数上位 50 位 (2004 年度)

表2-9 医系「部」または「分野」別 採択研究課題数上位30位(2004年度)

金額単位/千円

医学					医歯薬学				
順位	種別	機関名	件数	金額	順位	種別	機関名	件数	金額
1	国	東京大学	53	51,200	1	国	東京大学	34	34,800
2	国	大阪大学	29	28,600	2	国	京都大学	28	28,900
3	国	京都大学	25	25,500	3	国	大阪大学	26	27,100
4	国	北海道大学	13	14,000	4	国	九州大学	14	14,300
4	国	筑波大学	13	13,300	5	国	東京医科歯科大学	12	13,100
6	国	東京医科歯科大学	12	13,400	6	国	東北大学	9	9,300
7	国	九州大学	11	11,000	7	国	名古屋大学	7	7,100
8	国	東北大学	9	10,100	7	国	千葉大学	7	6,600
9	国	名古屋大学	6	5,800	9	国	筑波大学	6	6,600
10	国	熊本大学	4	4,000	9	私	京都薬科大学	6	6,100
10	国	金沢大学	4	3,900	11	私	慶應義塾大学	5	5,000
12	国	岡山大学	3	3,400	12	国	北海道大学	4	4,200
12	国	愛媛大学	3	3,400	12	国	神戸大学	4	4,200
12	国	福井大学	3	3,100	12	国	徳島大学	4	4,000
12	国	鳥取大学	3	3,000	12	公	名古屋市立大学	4	3,800
12	私	慶應義塾大学	3	3,000	16	私	神戸薬科大学	3	3,700
12	私	産業医科大学	3	2,900	16	公	札幌医科大学	3	3,400
12	国	徳島大学	3	2,700	16	国	岡山大学	3	3,200
19	国	神戸大学	2	2,700	16	私	東京理科大学	3	3,200
19	私	神戸薬科大学	2	2,400	16	国	長崎大学	3	2,900
19	国	岐阜大学	2	2,300	16	国	山口大学	3	2,700
19	公	横浜市立大学	2	2,300	22	国	富山医科薬科大学	2	2,400
19	私	日本大学	2	2,200	22	国	金沢大学	2	2,400
19	他	国立医薬品食品衛生研究所	2	2,200	22	国	信州大学	2	2,400
19	他	国立長寿医療センター	2	2,200	22	私	北里大学	2	2,400
19	国	新潟大学	2	2,100	22	他	生理学研究所	2	2,400
19	私	東海大学	2	2,100	22	国	秋田大学	2	2,200
19	私	帝京大学	2	1,800	22	国	熊本大学	2	2,200
19	国	三重大学	2	1,700	22	国	浜松医科大学	2	2,100
19	国	広島大学	2	1,400	22	私	順天堂大学	2	2,100
19	国	鹿児島大学	2	1,300	22	私	早稲田大学	2	2,000
					22	国	福井大学	2	1,900
					22	公	横浜市立大学	2	1,600
					22	国	広島大学	2	1,400
合計			263	268,700	合計			240	251,500

## 2 - 4 融合系

新研究コードの総合・新領域系の分野：総合領域、複合新領域に大まかに対応するのは、旧研究コードの部：複合領域である。これらを融合系として合計した全体での機関別採択研究課題数を表2 - 10に、その棒グラフを図2 - 8に示す。ただし、新研究コードでは新たな「分科」も設けられており、対応性については他の系ほど簡単ではない。

融合系の特別研究員奨励費の採択研究課題数については、東京大学、京都大学、大阪大学と続き、3位の大阪大学と4位の名古屋大学の間で段差がある。東京大学が全体の21.3%、京都大学が12.5%、大阪大学が8.5%であり、この3大学で約4割を占めている。私立大学最上位の慶應義塾大学が2.6%に過ぎない。このような分布は、理工系に近いものである。これは、融合系の「部」や「分野」に含まれる研究分野が理工系に偏っているためであろう。しかし、単年度のため採択研究課題数が少なく、12位ですでに10件未満であるため、機関別順位やその占める割合に統計的に意味があるかどうかは不明である。

2003年度と比較してみると、4位以下の順位には多少変動が見られる。旧研究コードの部：複合領域に含まれていた研究分野の幾つかが他の系へ移行したり、新研究コードの分野：総合領域、複合新領域に新しい「分科」が設けられたりしたために、各機関の採択研究課題数の増減が他の系よりも大きいように見える。中でも、1位の東京大学が大幅に採択研究課題数を伸ばし、2位以下との差を広げている。上位の3大学が占める割合は、2003年度の40.5%より増えており、他の系とは様相が異なることが窺える。

以下、旧研究コードの部：複合領域、および新研究コードの分野：総合領域、複合新領域について、I章で述べた方針にしたがって上位30位までを表にまとめ、表2 - 11 - 1 ~ 2 - 11 - 2に示す。文系と同様に、同じ研究分野と考えられるものが新旧の研究コードにまたがると同時に、新研究コードでは新たな「分科」も設けられたため、これらの順位にどの程度の意味があるかはよくわからない。

末尾になったが、この一連の科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究にあたって、データの整理、編集、図表の作成をお願いした東京大学生産技術研究所の斉藤加余子氏に感謝の意を表す。

表2 - 10 融合系 採択研究課題数上位50位(2004年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2004年度		2003
			件数	金額	件数
1	国	東京大学	165	166,000	136
2	国	京都大学	97	95,699	101
3	国	大阪大学	66	67,000	78
4	国	名古屋大学	39	39,600	33
5	国	東北大学	38	39,000	33
6	国	九州大学	29	29,000	38
7	国	東京工業大学	22	19,600	24
8	国	北海道大学	21	21,300	25
8	国	筑波大学	21	20,700	23
10	私	慶應義塾大学	20	20,000	14
11	国	広島大学	11	9,933	12
12	他	産業技術総合研究所	9	9,900	17
13	国	神戸大学	8	7,500	6
13	国	奈良先端科学技術大学院大学	8	7,200	10
15	私	早稲田大学	7	6,864	8
15	国	金沢大学	7	6,800	8
17	他	基礎生物学研究所	6	6,900	0
17	国	千葉大学	6	6,600	6
17	国	北陸先端科学技術大学院大学	6	4,600	3
20	他	岡崎共通研究施設	5	5,900	0
20	他	国立精神・神経センター	5	5,600	4
20	国	静岡大学	5	5,300	4
20	他	国立遺伝学研究所	5	5,200	6
20	公	大阪市立大学	5	5,100	5
20	国	お茶の水女子大学	5	4,900	5
20	公	大阪府立大学	5	4,800	2
20	公	兵庫県立大学	5	4,700	4
20	国	愛媛大学	5	4,500	5
29	他	国立情報学研究所	4	4,800	1
29	他	生理学研究所	4	4,200	0
29	私	玉川大学	4	4,100	4
29	他	統計数理研究所	4	4,100	3
29	国	総合研究大学院大学	4	3,900	4
34	国	岐阜大学	3	3,400	4
34	他	東京都医学研究機構	3	3,400	4
34	国	九州工業大学	3	3,200	2
34	公	名古屋市立大学	3	3,100	3
34	国	東京医科歯科大学	3	3,000	4
34	国	琉球大学	3	3,000	2
34	国	鳥取大学	3	2,900	2
34	他	核融合科学研究所	3	2,800	6
34	私	立命館大学	3	2,700	2
34	国	奈良女子大学	3	2,300	3
44	国	熊本大学	2	2,400	4
44	他	国立民族学博物館	2	2,400	0
44	公	横浜市立大学	2	2,300	4
44	私	京都産業大学	2	2,300	2
44	私	岡山理科大学	2	2,300	1
44	他	大阪バイオサイエンス研究所	2	2,300	3
44	他	放射線医学総合研究所	2	2,300	2
44	他	国立長寿医療センター	2	2,300	2
44	国	徳島大学	2	2,200	2
44	私	東海大学	2	2,200	0
44	私	東京女子医科大学	2	2,200	1
44	他	情報通信研究機構	2	2,200	2
44	国	横浜国立大学	2	2,100	2
44	国	大分大学	2	2,100	2
44	私	東北学院大学	2	2,100	3
44	私	近畿大学	2	2,100	1
44	国	一橋大学	2	2,000	0
44	私	東京理科大学	2	2,000	2
44	他	国立極地研究所	2	2,000	1
44	国	豊橋技術科学大学	2	1,900	2
44	国	新潟大学	2	1,800	6
44	国	名古屋工業大学	2	1,700	0
		合計	774	781,196	778

採択研究課題数

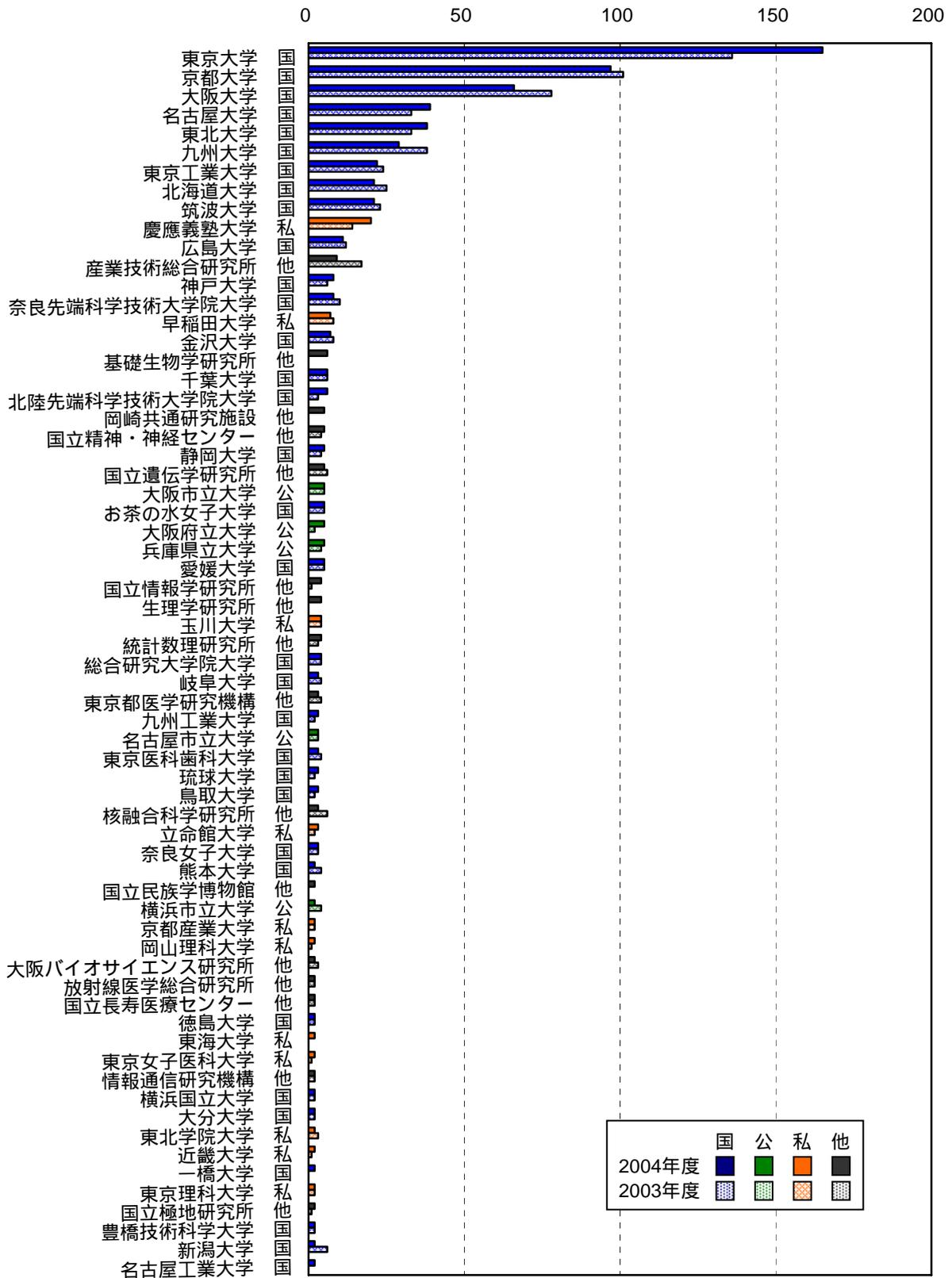


図 2 - 8 融合系 採択研究課題数上位 50 位 (2004 年度)

表 2 - 11 - 1 融合系「部」または「分野」別 採択研究課題数上位 30 位 (2004 年度)( 1 )

金額単位/千円

複合領域				
順位	種別	機関名	件数	金額
1	国	東京大学	87	87,100
2	国	京都大学	69	67,899
3	国	大阪大学	40	40,300
4	国	名古屋大学	22	21,900
5	国	東北大学	18	18,700
6	国	九州大学	16	15,800
7	国	北海道大学	12	12,100
8	私	慶應義塾大学	11	10,900
8	国	東京工業大学	11	10,200
10	国	筑波大学	10	9,500
11	他	産業技術総合研究所	9	9,900
12	国	広島大学	8	6,933
13	国	神戸大学	6	5,700
14	他	基礎生物学研究所	5	5,700
14	他	国立遺伝学研究所	5	5,200
14	私	早稲田大学	5	4,864
14	国	金沢大学	5	4,800
14	国	奈良先端科学技術大学院大学	5	4,400
19	他	国立精神・神経センター	4	4,400
19	国	千葉大学	4	4,100
19	私	玉川大学	4	4,100
19	国	愛媛大学	4	3,300
23	国	静岡大学	3	3,400
23	他	東京都医学研究機構	3	3,400
23	公	兵庫県立大学	3	2,900
23	他	核融合科学研究所	3	2,800
合計			447	449,596

表 2 - 11 - 2 融合系「部」または「分野」別 採択研究課題数上位 30 位 (2004 年度)(2)

金額単位/千円

総合領域					複合新領域				
順位	種別	機関名	件数	金額	順位	種別	機関名	件数	金額
1	国	東京大学	49	49,800	1	国	東京大学	29	29,100
2	国	大阪大学	16	15,900	2	国	東北大学	13	12,800
2	国	京都大学	16	15,800	3	国	京都大学	12	12,000
4	国	九州大学	11	11,400	4	国	大阪大学	10	10,800
5	国	東北大学	7	7,500	4	国	名古屋大学	10	10,200
5	国	名古屋大学	7	7,500	6	国	北海道大学	8	8,000
5	国	筑波大学	7	7,000	7	国	筑波大学	4	4,200
5	国	東京工業大学	7	6,500	7	国	東京工業大学	4	2,900
9	私	慶應義塾大学	6	6,000	9	私	慶應義塾大学	3	3,100
10	国	北陸先端科学技術大学院大学	4	2,900	9	国	広島大学	3	3,000
11	他	国立情報学研究所	3	3,600	11	他	国立民族学博物館	2	2,400
11	国	九州工業大学	3	3,200	11	他	岡崎共通研究施設	2	2,400
11	国	総合研究大学院大学	3	3,000	11	国	お茶の水女子大学	2	2,100
11	他	生理学研究所	3	3,000	11	国	一橋大学	2	2,000
11	公	大阪市立大学	3	2,900	11	国	鳥取大学	2	2,000
11	国	奈良先端科学技術大学院大学	3	2,800	11	国	九州大学	2	1,800
17	国	静岡大学	2	1,900	11	公	大阪府立大学	2	1,800
17	国	神戸大学	2	1,800	11	公	兵庫県立大学	2	1,800
17	国	名古屋工業大学	2	1,700					
17	他	統計数理研究所	2	1,700					
17	国	奈良女子大学	2	1,500					
合計			192	193,000	合計			135	138,600